

## インターンシップ講習生から感想をいただきました

研究推進部 研究推進室

今年もインターンシップ講習生が農村工学研究部門にやってきました。

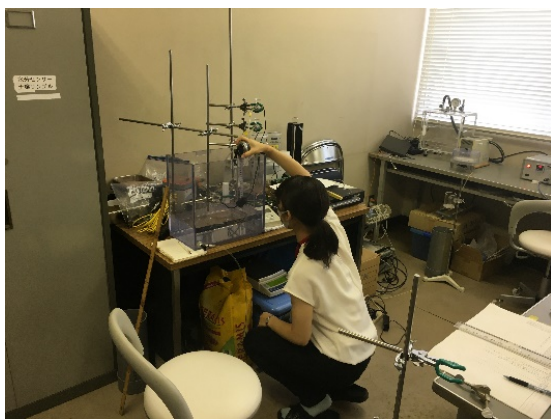
新型コロナウイルスの影響で大変なか、農地基盤工学研究領域 畑整備ユニットにて 2 週間講習を受けた 2 名の方から感想をいただきました。

(A さん)

私はこの畑整備ユニットでの 2 週間にわたるインターンシップで、土壌の団粒構造の分析などの実験をさせて頂きました。私自身、日を跨いで長期的に行う実験をするのが初めてで戸惑うことも多かったですが、この実験を通してそれに関する知識や実験の方法など、沢山のことを教えて頂き学ぶことのできた有意義な 2 週間を過ごすことが出来ました。さらに、実際に研究者として働いている方々のお話を聞かせて頂くことで、自分の視野を広げることができ、大学では得られない貴重な体験をすることが出来ました。

(B さん)

私は今回の農研機構のインターンシップで、土壌中の含水量などを測るセンサーのキャリブレーションについて学ばせて頂きました。既に決まっている結論に向けて手順を踏む学生実験しかしたことのない私にとって、何日もかけて結果を求める実験はとても新鮮で貴重な経験になりました。また、ほ場での透水試験などとおして、大学の授業で学んだ法則などが実際にはどのような場面で応用されているのかを知ることができ、興味深かったです。



(受け入れユニットより)

土壌試料の調整や土壌物理性試験などに対して一生懸命取り組んでくれました。新型コロナウイルスの影響で大変なか、それぞれ工夫して、なんとか実験を終えて、データを取りまとめてもらうことができました。今回の経験が、少しでもプラスになれば幸いです。2 週間、お疲れ様でした。